

## 平成15年度試験研究成果書

区分	指導	題名	ねぎの7月穫り作型におけるチェーンポット育苗の適応性	
[要約]ねぎの4月上旬定植・7月下旬収穫作型では、慣行のセル育苗と比較して、定植時の作業省力性に優れるチェーンポット育苗でも同等の収量が得られる。播種時期は1月上旬が適する。				
キーワード	ねぎ	7月収穫	チェーンポット	園芸畑作部野菜畑作研究室

### 1 背景とねらい

輸入による国内生産への圧迫が最も顕著なねぎ生産にとって、前進出荷拡大による長期継続出荷体制の確立と高品質生産、省力機械化体系の確立、そして減農薬栽培等による安全・安心面での差別化が最も重要な技術対策として位置づけられる。

現行の出荷期間である8～11月をさらに拡大するため、販売単価の比較的安定した7月収穫に適した省力的な栽培方法を検討し、収穫期間の長期化による安定生産を図る。

### 2 成果の内容

- (1)セルトレイ(128穴)、またはチェーンポット(264穴)を利用して12月～1月に播種し、4月上旬に定植することで、7月下旬から収穫開始となる。収量は理論収量でaあたり400kg以上になる(表1)。
- (2)チェーンポット育苗において、葉鞘径を確保して収量に占めるM～L規格品率を高めるには、1月上旬播種が適する(表1、図1)。
- (3)チェーンポット育苗では、定植時に簡易移植機を利用できるので、慣行のセルトレイ育苗の定植に比べ、定植時の作業時間が1/6程度まで省力化が可能になる(表2)。

### 3 成果活用上の留意事項

- (1)本試験の育苗はハウス内トンネル無加温育苗で行ったが、12月～2月におけるトンネル内の最低気温が氷点下になることはあるものの、凍害などの障害は見られない。
- (2)定植時の葉鞘径は2.0～3.5mmとなり、播種時期が早いほど太い傾向にある(表1)。1月上旬播種、4月上旬定植の場合、育苗期間が90日程度になるので、苗が老化しないよう肥切れに注意する。生育後半に葉色が淡くなってきた場合は液肥などをういて追肥を行う。
- (3)定植後から約1ヶ月程度を目安にべたがけ被覆を行うことで、初期生育は安定する傾向にあるが、収穫時には軟白長がやや確保しやすいものの、葉鞘径の肥大に差は見られず、被覆による収穫前進効果は少ない(表3、図2)。
- (4)7～8月出荷の場合、A品の軟白長は25cm以上必要となるので、軟白長を確保するため計画的に培土を行う。特に、最終の培土(止め土)が梅雨時期と重なるので、事前に圃場の排水性を向上させるなどの対策を行う。

### 4 成果の活用方法等

#### (1)適用地帯又は対象者等

県南地域ねぎ生産者

#### (2)期待する活用効果

ねぎの収穫期間前進化による生産拡大

### 5 当該事項に係る試験研究課題

- (816) ネギの産地力強化のための低コスト・長期安定供給技術の確立  
(1000) ネギの7月穫り作型開発と作型別適品種選定

### 6 参考資料・文献

- (1)平成10年度試験研究成果 県北地域におけるネギの8月出荷作型
- (2)平成7年度指導上の参考事項 葉菜類のセル成型育苗における底敷シートの利用法
- (3)平成14～15年度 岩手県農業研究センター園芸畑作部野菜畑作研究室成績書(未定稿)

## 7 試験成績の概要 (具体的なデータ)

表1 育苗方法の違いによる理論収量 (H14~H15)

チェーンポット育苗 播種時期	H14 チェーンポット慣行			H15 チェーンポット+底敷シート				H15 チェーンポット慣行			
	11月	1月	2月	11月	12月	1月	2月	11月	12月	1月	2月
定植時の葉鞘径 (mm)	3.1	2.7	2.7	-	3.1	2.5	2.0	3.5	2.9	2.8	2.3
M~L品率(%)	88	88	92	-	78	69	71	62	58	73	64
A品率(%)	32	20	17	-	27	27	13	14	15	34	7
理論収量(kg/a) 注	461	424	503	-	465	413	402	406	388	422	372

セルトレイ育苗 播種時期	H14 セルトレイ慣行			H15 セルトレイ+底敷シート			
	11月	1月	2月	11月	12月	1月	2月
定植時の葉鞘径 (mm)	2.7	2.1	2.0	3.3	3.0	3.0	2.5
M~L品率(%)	84	91	85	79	77	82	60
A品率(%)	2	25	5	26	25	42	12
理論収量(kg/a) 注	462	460	458	457	454	468	371

注:理論収量:平均1株重×4,000本/a

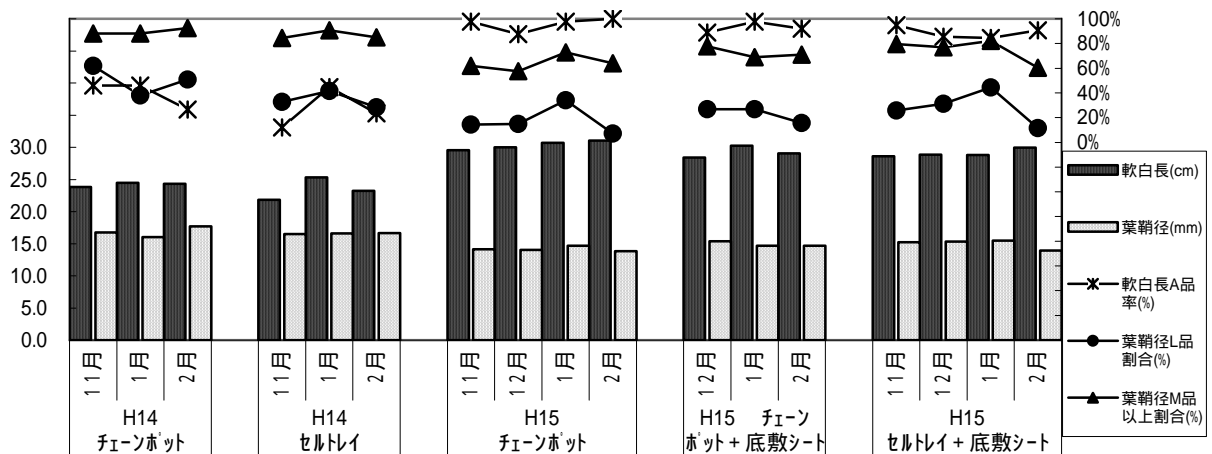


図1 収穫調査 (H14~H15)

表2 10aあたり定植作業時間(H15)

定植方法	組作業人数	のべ作業時間(対比%)
チェーンポット育苗 簡易移植機	2	2.4(15)
セルトレイ育苗 手植え	2	15.6(100)

注1: 岩手農研センター生産工学研究室調査

表3 べたがけ利用による初期生育(H14)

種播期	利用資材	葉鞘径(mm)	
		定植時	2ヶ月後
12月	べたがけ有	3.1	8.0
	べたがけ無	3.1	7.4
1月	べたがけ有	2.7	7.3
	べたがけ無	2.7	8.3
2月	べたがけ有	2.3	7.6
	べたがけ無	2.3	6.8

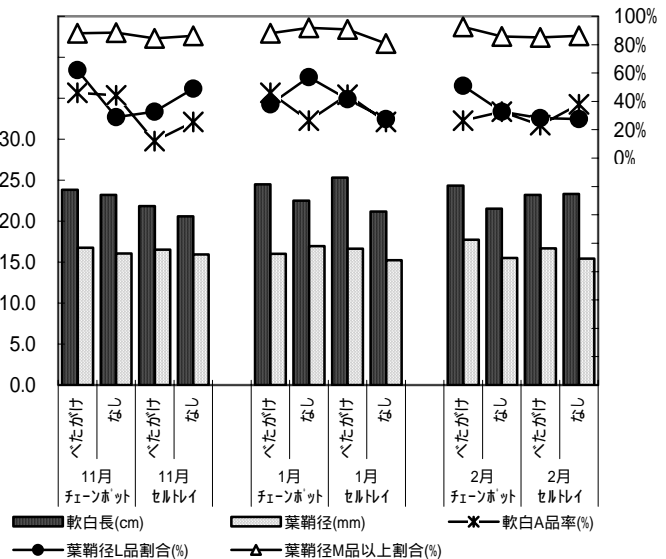


図2 べたがけの有無と収穫時の品質 (H14)

### <耕種概要>

- ・H14 播種:11/15、1/5、2/5 定植:4/8 収穫:8/5 使用品種:長宝 栽植様式:うね巾100cm 平均株間2.5cm
- ・H15 播種:11/15、12/18、1/8、2/3 定植:4/2 収穫:7/30 使用品種:長宝 栽植様式:うね巾100cm 平均株間2.5cm
- ・育苗方法:ハウス内トンネル無加温育苗、底敷シートの利用方法などについては参考資料(1)を参照
- ・チェーンポット育苗:264穴チェーンポット利用、1穴2粒まき。底敷シート利用時は根巻防止シートを利用せず育苗箱のままシート上で育苗
- ・セルトレイ育苗:128穴セルトレイ利用、H14:1穴3粒まき H15:1穴2粒まき
- ・利用資材:底敷シート(商品名:ツカツツU)、根巻防止シート(チェーンポット育苗時慣行利用資材、商品名:クハピ-)
- ・べたがけ:定植後から約1ヶ月間べたがけ被覆(資材名:パスライト)
- ・収穫時調査は岩手県青果物等標準出荷規格に準じて長さ60cmに調製し測定。軟白A品:軟白長25cm以上、葉鞘径L品:葉鞘径17~21mm、葉鞘径M品:葉鞘径14~16mm